

サカタニ・友の会

2005年・第6号・Vol.71

# とんからりん

2005年6月1日・集・西・楽 (株)サカタニ

075-561-7974fax 075-561-6710

ファミリーマート・サカタニ京阪七条店・075-561-0162

ホームページ・URL <http://www.sosake.jp>

会員の皆さま。

## 朝粥食べておシャベリ会

6月は定例とおり第3日曜にいたします。  
19日(日)9時スタート・終了10時30分  
5月は堀切義郎様の「狂言と能」の話をお聞きしました。6月も何か?があります。  
参加費 200円(会員さん)300円(会員以外)  
**必ず前日までにご予約をお願いします。**  
集・西・楽・(株)サカタニ

## 公 - オープン価格へ

卸からドンナ安く買っても、消費者に値段を下げて販売すると、組合や役所(税務署)から強烈な圧力が加えられました。

その頃、私は酒卸業から酒小売に転業し安く仕入れた物は安く売る販売をして、業界から「不逞の輩」と言われたこともありました。

公が出来た時代に酒販売免許制度も出来、公がとうに忘れられた今年9月で約70年続いた酒販売免許制度は無くなると言われています。

酒類の価格も全体に安くなり、通常では考えられない価格競争が続いています。酒卸屋さんも大手商社系列に統合、転廃業で激減。酒を主力にしていた酒屋さんも減って来ました。メーカーもドンドンと低価格策で量販しながら競争をしていましたが最近では量が増えず、価格政策を大幅に変更し出しました。所謂「オープン価格」にして来たのです。

さて、「オープン価格」とは、本来は「公明自由な価格」と言うものですが、現実にはメーカーが卸値や消

費者提供価格を「決めない価格」と言う形で使われています。

ビールを例にすると生産者価格、卸価格、小売価格は、生産者が決めて、その元取引をして、仕入量、営業政策でリベートや値引という名目で利益還元が行われていたのです。

「オープン価格」採用後(1月)その利益還元は一切なくなりました。実質仕入価格の値上になりました。酒スーパーなどの「チラシ」に

メ(メーカー価格)表示がなくなり、店頭発表が増え、価格値上されたのはこれが原因です。酒の世界も

公からオープン価格時代は時代になりました。自由競争を自己責任と自己体力で営業を継続しなければ脱落する厳しい戦いの時代になりました。当社のビール、発泡酒など1月から仕入価格が上がりましたが会員様価格は据え置きでしたが、6月から改定せざるをえません。何卒ご了承ください。

「店はお客様のためにある」「店がそこに有続けることが最大のサービス」を「こころ」にして、会員様方のお役に立つ店を目指します。

インターネットで「笠原鴨<sup>あうがい</sup>注」の「平安年中行事記(明治43年刊)」という本があると知りました。この人は祖母の長兄です。早速古書店に求め読み出しています。当時の京都地図が付いて有り、京阪は七条が終点、東海道線は稲荷から山科大津に向かっています。祭事、行事を月ごとに記載されており何れ「とんからりん」に書きたいと思っています。その本の裏表紙に「消毒済」の印が押した「賣価、公××円18・6・10」小さな紙が貼って有りました。金額は読取り不能。公 = マルコウ、は日中戦争時代、価格等統制令、(戦後は物価統制令)で国家がきめた公定価格の略表示です。酒屋の世界は元々大蔵省の管理下でしたから、昭和40年ごろまで公と似た定価定が表向きには厳しく護られていました。実際は卸と小売間では有名無実の状態でした。

サカタニ友の会の

## お約束

年会費 1200円(4月~翌年3月)年途中も会費は同じ

入会時・年度内末に500円買物券各一枚・本年9月まで各月50円買物券2枚進呈。

お買物(2Fのみ)100円=1ポイント・(配達のお方は月2000円以上お買上200円)

300ポイントで300円サービス券をお渡しします。

「催し」「特売」案内「ポイント割増セール」もします。

「試飲会・試食会」「蔵見学」の優先案内を致します。

情報誌「とんからりん」を9月までは毎月、以後は隔月に1度お届けします。

会員様への配達、商品の充実に努めます。

未成年の方、ご同業の方、当社の事情で入会をお断りする場合も有ります。

1Fファミマでの友の会カードでポイントは付きません。ファミマ・クラブお入り下さい。

### ヨシイちゃんのヒトリゴト

#### 小：長。大：短。

ヨシイちゃん十数年前に大腸切除手術で大腸が短くなっています。小腸は無傷で元の長さ。それでこんなヒトリゴトにしました。(ウソです~)本当は幼：長。老：短。にと思ったのですがこの方がオモロイと決め書き出しました。

わが家系は、男性は短命。曾祖父、祖父は50台、父63歳で亡くなりました。ですから40歳のころ私は、まあ68位まで生きられたらエエわと思っていたのです。

朝ファミマにご来店くださる方はよくご存じですが、朝7時には、

先にパソコンをぶら下げて既に仕事をしています。このパソコンは在庫や前日売れた数が画面に表示され、翌日の注文がサットと出来る優れもののです。残念ながら手術の所為、歳の所為でこの便利な道具も老眼鏡がないとタダの箱になります。グチはやめます。キヨシです！

ウンニヤ、ヨシイちゃんデス！

半世紀以上前の幼い頃、12月28日が定例餅つき、お正月まで3日しか無いのに随分長く思いました。国民学校2年の12月8日(1941)八紘一字をかかげた東条英機將軍の命令で始まり、原爆と勅語で終わ

った戦争(1945・8/15)僅か3年8ヶ月だったのに三倍位の長さに思え、疎開は7ヶ月しただけなのに、これも2.3年間家を離れていた感じ。

中、高生時代は大好きだった「試験期間」一週間が一ヶ月。ほとんど左様に小さい頃は時間を長く感じていたのです。

別に地球の回転が速くなったわけではないのに、何時の頃からか時間が短くなった。ついこの間「お正月」だったのに、赤丹の松。梅。桜も過ぎ早16月、柳に蛙の時節です。そうもう「花札」遊びなんてする人もないか！高倉健も歳やしネ~。

「赤丹」なんて知らんでも「よろし」判る人も有るやろう。

### こだわり梅酒・ランキング

#### 1・鶯梅梅酒

[西塾]で蔵見学に行ったことが有り、純米酒京都紅梅の醸造をお願い

している奈良県新庄、梅乃宿酒造が、西吉野の梅の実を日本酒と米焼酎で漬けた「鶯梅梅酒」が、5月18日付「毎日新聞」朝刊でこだわり梅酒のと報じられた。

梅の味香り、をウマク引き出し

720ML  
1050円税込

日本酒の持つアッサリとした甘さと味は絶品と自信を持っていて、当社で早くから、お勧めしていた商品だけにうれしいことです。是非飲んで欲しい。

### 太田修一

#### シークレットライブ

6月26日(日)14時~18時  
前売り・2000円  
当日・2500円  
前売券・集西樂サカタニにも有  
楽々ホール

一日24時間、一年365日が短くて困った困ったと思うのは、若いつもりでも老いたためでしょうか？

皆さんは如何ですか？一日中テレビを見るだけで、日は長いなんて言うてたら、足が弱ります。動かなアキマヘン。

アッ！短いものが「イロイロ」で長いのを忘れていた。前の戦争3回分、庶民に吹きつける10年の不景気風。長いやオヘン。ひと昔(10年)でっせ！お商売屋さんがギョウサン減って淋しいなあ。とにかくがんばる一手。

つまらない、ヒトリゴト。

キヨシです！と改名すべきかとヨシイちゃんは懺悔しきり・・・。

当社屋上から白い天幕を下げました。女の子が描かれています。

名前はこころちゃんです。

お化粧は口紅だけです。

可愛がってネ！

集西樂サカタニ1年経って、ヤツと店頭看板をつくれました。オオキニ！

### 楽々ホール・ギャラリーカフェ集re

も、時間貸しに応じています。ファミマの商品持込OK..  
よい酒類は売るほど有り、交通は便利で集まりやすい！おまけに使用料もヤスイ。こんな風に使われている

6月3日(18:~21:)  
健康地ビール会

楽々

6月4日(16:30~21:30)  
ウクレレ教室発表会

集re

6月18日(17:~21:)  
なつかしのフォークソング  
同窓会(NFD会) 楽々  
当日、貸切使用です。

7月2日 (同封チラシ見テネ)

### 「楽々悠々市」

東山]区内の「もの作りグループ」12人が、自ら作った、婦人服、帽子、小物、菓子などの店を出されます。

見テ楽シク、買ってウレシイ店とか。「楽々ホール」にて！

「集」でも、楽しく懐かしい

企画が有るかも？

少し早いけど7月2日なので予告しました。

「出会い、ふれあい、豊かな人生。」

しゅうゆうらく  
**集酉楽は**  
こころさか  
**東山七条にあり**

開店して、1年が経った。地域の方に喜んでいただき、地域の皆様と共に歩む店として、「集酉楽」サカタニは地図のない海原へと出航した。

個人商店でこのような形態の店は、日本中探してもあまり存在していないのではなかろうか。見本のない店だから、試行錯誤の繰り返しだった。

お客様の喜ばれる顔を想像しながら、いろいろと企画した中で、継続しているものは今年の5月末時点で、お酒の会「酉塾」7回、NPO法人音の風さんとの共催の「音楽茶会」11回、「楽々落語会」3回、「フリーマーケット」5回、喫茶集 re (あつまれ)でのひと月単位での「展覧会」10回、「朝粥食べて、おシャベリ会」6回など。いろいろな人の協力の下、多くのイベントが出来、たくさんのお客様に来店していただいた。

そんな中で私が最もうれしかったことは、新たな人との出会い、そして出会ったことにより新しい展開があったことである。一人で出来ることは少ないけれど、何人かが力を合わせ、知恵を出し合うと、本当に素敵なことが出来る。私自身もこのような仕事に携わっていても、知らないこと、出来ないことだらけであるが、集酉楽で開催される展覧会や音楽会その他のことで、いろいろなことを学んだ。

お酒の勉強会「酉塾」では、男の人より女の人の舌や喉が確かなこと、(男は酔う事が主で、味や、酒の良し悪しには少し無頓着)。「音楽茶会」では音楽を通して社会に貢献しようという意欲があり、そして本当に音楽を愛している人達が多くいることに勇気づけられた。ここでも女性陣の果たしている役割は本当に大きい。「楽々落語会」さすがプロのイベント、演者の米二郎

匠の完璧な準備作業、(スケジュール調整、椅子の配置、ライトの当たりの微調整、高座の設営など)どれをとってもさすがプロの仕業。本職の落語のほうも、よかったと皆さんが笑顔でお帰りの姿。お客様の笑い声が私どもの喜びとなっている。

今年から始めた「朝粥食べて、おシャベリ会」。当初はどうなる事かと心配していたが、2回目開催の折に、京都新聞が大きく朝粥会の記事を掲載して下さったので、60人余のお客様のご参加をみた。てんてこ舞いの状態だったが、現在では30人くらいに落ち着いている。一番最近の「朝粥会」では、当社友の会の会員さんをお願いして「狂言」についてお話していただいた。

これからも朝粥を食べる前に、皆さんに何か喜んでいただけるもの、

楽しいことをこれからも企画したいと思っている。

いろんな人との出会いは心を豊かにします。音楽や絵画その他の催しを通して、豊かな人生を送るお手伝いが出来たらと思っております。

これからも集酉楽サカタニはお酒の販売はもとより、いろいろな催しを通じて地域の皆様に喜んでいただける店作りを目指し、この地域に「集酉楽サカタニ」があつてよかったと皆様に思っていただけのように、がんばりたいと思っております。「出会い、ふれあい、豊かな人生」「感動こそエネルギーの源」との教訓を胸に、これからもいろいろ企画いたします。皆様のご支援、催し物へのご参加、今後ともよろしくお願い致します。

集酉楽サカタニ・常務取締役  
酒谷宗男

お知らせ 6月の「催事」など 案内2pにも有

**野寺夕子・微熱花暦**

ポストカード1250枚展示

**仰天写真展** ~ 6月17日迄

時・10時30分 18時まで

鑑賞無料 集re 喫茶ルーム

野寺夕子著作品販売

**トークと花の音楽会**

6月8日夜7時~9時

野寺夕子さんとのトークと

ミュージシャン2ユニット演奏

参加費・1ドリンク付・1000円

**音の風 音楽茶会**

日・6月26日(日)

時間 19時30分~

会費・500円 1ドリンク付

・集re 喫茶ルーム

京都女子大学・

**絵画部第2回学外展**

せんしばんこう

「千紫万紅展」

楽々ホール

6月10日(金)~12日(日)

両日共 朝11時~夕6時

入場無料・ご来場をマッテマス

**朝粥食べておシャベリ会**

6月19日(日)開催

(必ずご予約下さい)

朝9時~10時30分

会費・300円

(友の会会員様200円)

集re 喫茶ルーム

9時20分以後は入場出来ません。

ご予約の締切りは前日午前中にお願ひします。561-7974迄

**しん相無料体験会**

6月5日午後1時~5時

参加費・無料・予約要

楽々ホールにて

お問合・申込み・531-8356

倉谷三恵子まで

地図カンバン物語

第9話

地図から消えた川

本文に入る前に5月8日「とんからりん」05年5月号の「地図カンバン物語」につき「お詫びと訂正」をさせて頂きませう。看板物語の表題を

第8話「河井寛次郎記念館」と記すべきところ第7話「河村寛次郎記念館」と掲載配布してしまいました。

特にご有名な先生のお名前を誤り記したこと恥じています。お許し下さい。

また文中所在地を東大路馬町の信号を西へ一筋目を「左(北)」に入ったと書きましたが「右(北)」でした。今後充分注意し誤り無きように努めます。

平にお許し賜りますようお願いする次第です。 筆者・酒谷義郎

さて、京阪電車地下化にともない「琵琶湖疎水」が、お池通り～塩小路の区間暗渠になりこの辺りの地図から消えて20年以上になる。

この琵琶湖疎水(以下疎水)は琵琶湖の水量に着目した北垣国道知事が明治14年(1881)発案。

明治18年(1885)工部大学(現東大)出身の田邊朔郎(21歳)の指揮で着工、明治23年3月大津から鴨川までが完成した。その工費は125万円。当時の工事は外人技術者の力を借りるのが通例で有ったが、日本人技師での着工は明治の京都人の「心意気」の表れと思える。竣工式は4月9日「夷川船たまり」で行われ、市民は日の丸、提灯を揚げ、祇園祭りの月鉾、鶏鉾、天神山、郭巨山などが参加、大文字も点火しこぞって祝ったと言う。

その後、明治27年に伏見まで延長され、宇治川(淀川)と繋がり「運河」として利用された。疎水の完成は、発電所、市電や工業を起こす引き金となった。そして今も市民生活を支える水道に絶大な貢献をしている。

昭和20年代頃までは夷川船たまりに「水泳教室(武徳館)」があり泳ぎを習った。又、泳げるようになると疎水はプール代わりになり悪童で溢れていた。老婦人となって今は威張っている?方々も当時は「おしとや」かで、疎水で泳ぐ姿はついぞ見かけなかった。(言過ぎてカンニ

疎水の他に、「音羽川」も暗渠化した。清水山南裾から五条坂に沿って西へ、大黒町と本町の中ほどを南へ、今本町正面上の児童公園から西へ曲がり鴨川に至る川である。(貞教会館はその上?)分流が妙法院から博物館、三十三間堂北大和大路まで水が流れていた。名高い音羽の滝と水源が同じなのか、上流では「沢蟹」が沢山いた。分流にもキレイな水が流れカニやゴを見る事も有った。音羽川の合流点の疎水には船を上流に上げ、水量調節用の堰、(通称ドンドン)があり、そこを水元に川端通りを南へ、一橋野本町まで

野寺夕子  
びねっはなごよみ  
「微熱花暦」展によせて

今、集reギャラリーでは京都府日吉町にお住いのフォトライター、野寺夕子さんのちょっと変わった趣向の写真展が開かれています。花のポストカードが25種類×50枚=1250枚、それを貼り合わせ、集reの中に展示しているのです。朝日新聞情報紙『あいあいA I 京都』に連載された中から選りすぐった25種類の花は、たんぽぽ、土筆、桔梗、薔薇、桜から、玉葱や茄子、ネコジャラシまでよく知っている花がほとんどなのですが、一見、何の花だろう?と思わせる鮮烈な印象を与えてくれます。「見慣れた花を撮ろう。見たつもりになっていて、見つめていなかった花を撮ろう。ささやかだけれどもドキリとするそんな写真を撮ろう」野寺さんのそんな姿勢と情熱が、一枚一枚のカードにあふれています。カードの裏には、それぞれの花に寄せた彼女の短い詩が入っています。「たんぽぽのわたしとびたつ時はわかっている」「熱雷とグラジオラスときみの背中と」「クレマチスではなく 鉄線と呼ぶ人に惚れています」「鬼百合の朱赤 開いた汗腺」「曼珠沙華君の写真に飾りをり」

ポストカードは会場でも販売して「井手川」と言う流れが有った。名

の通り「水車」を動かす動力の水を引いた「井手」で炭屋さん米屋さんが資金を出して引き込んだものだ。市場や学校などの地中部分が多いのだが、元貞教幼稚園辺りから七条通北までは「小川」の姿をしていた。春はメダカが泳ぎ、ドジョウ、ミズスマシもいた。水量調節口が正面小橋付近にあり、夏はその付近の柳に「螢」がワンサと群がっていた。昭和30年頃のことだ。貧しさは自然と共存出来ても、繁栄と豊かさは必ずしもそうでないようだ。そこが問題だと誰かが言っている。

おりますので、詩と写真の花を見比べながらお気に入りのカードを探してみてください。

今回の展覧会は会場側の展示方法にもご注目下さい。『微熱花暦』展はすでに全国20ヶ所以上で開催されていますが、展示には作者は関わらないという方針なので、今回も集reのスタッフと京都女子大学の学生さんたちが共同してカラージュしました。大変な作業でしたが、広い壁面や入り口のドア、ガラステーブルを利用した展示はきっとお楽しみいただけるでしょう。6月8日(水)19時から、花にちなんだコンサートと野寺さんのトークも企画しています。花に囲まれて、ちょっと不思議な夜を過ごしてみませんか。

(酒谷佳子)

野寺夕子・微熱花暦

ポストカード1250枚展示

仰天写真展

～6月17日迄

時・10時30分 18時まで  
鑑賞無料 集re 喫茶ルーム  
野寺夕子著作作品販売

トークと花の音楽会

6月8日夜7時～9時  
集re 喫茶ルーム

野寺夕子さんとのトークと  
ミュージシャン2.ユニット演奏

参加費・1ドリンク付・1000円